

男女群島に於けるセジロ及びトビイロウンカの棲息調査

森 常也・樋口 泰三・山元 四郎

長崎県農業試験場 九州農業試験場

MORI, T. HIGUCHI, T. & YAMAMOTO, S. A Preliminary Survey on the Habitats and Food Plants of the White Back and Brown Leafhopper in the Ojima and Mejima Islands

は し が き

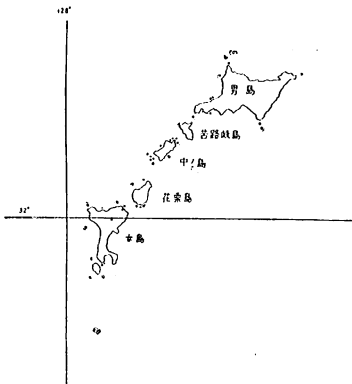
九州近海の離島の中、温暖で稲の分布していない島嶼に於けるセジロ及びトビイロウンカの棲息並びに飛来の実態の究明は、九州本土に於ける兩種ウンカの越冬実態並びに第1次発生源の究明に重要な事実を示すものと考えられ、男女群島に於ける棲息・飛来の状況を調査することとなった。

この調査を企図遂行するに当つて、農林省農業改良局研究部及び長崎農試月川場長の援助・九州農試末永技官の指導等に負うところが多かつた。記して謝意を表する。

男女群島の概観

長崎県五島列島の福江島の南西約70 km に男島・ハナグリ島・中島(寄島)・クロキ島・女島及び岩礁が10 km 弱の間に列をなして点在し男女群島をなしている。女島に燈台が設けられており(第2図(2))、

第1図 男女群島

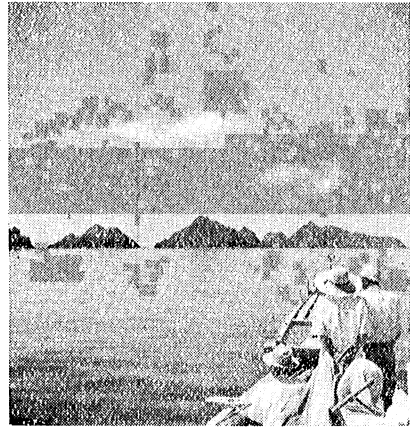


その位置は東経128°21'、北緯31°59'である。島々は玢岩で出来た海蝕崖と岩礁で囲まれ舟付場に恵まれていない。男島は最も大きく中央に湿地帯を有すると謂う。各島とも無人島であるが、女島には燈台要員5~6名が常勤し、男島は目下漁船の退避波止場の構築が行われ30数名が臨時在島中である。

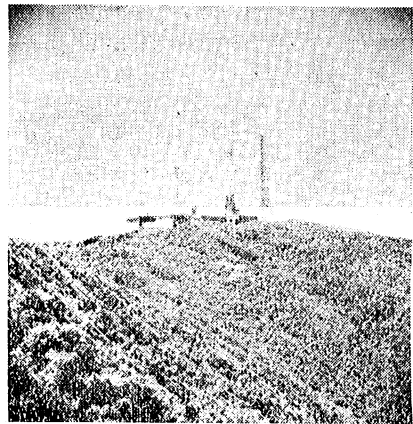
島は東支那海の一部に点在する小群島で全くの海洋

第2図

(1) 男女群島の遠景



(2) 女島燈台



気象で、同位度の鹿児島県阿久根よりも、更に南の枕崎よりも高温を示している。降雨は4・8月に多く、12~1月に少いが年降水量は2295ミリ前後となっている。風は年中強く平均5~10mで、主風は6~7月はES、8~9月はESEその他の月はNWである。

島の植物については竹内*氏の報告もあり、既に相当な調査がなされている。ウシカの棲息地点に於いて目立つ群落をなしているものに、ハチジョウススキ、イラクサ、ヤブマオ、チガヤ、イヌビエ、オヒシバ、メヒシバ、エノコログサ、ハマエノコロ、ウシノシツベ、ハマスゲ、カヤツリグサ等がある。動物で注目されるものにオオミズナギドリが多数棲息しており夜間はその啼き声がやかましい。女島では野鼠の棲息が夥しく多くキャンプすることは出来ない状況である。ウシカ以外の昆虫類については未だ整理中で後日発表したい。

調査の方法及び結果

演者等は五島地区病害虫観察員坂田寿を伴って、1953年8月1日女島に上陸、同月8日同島から男島を巡って（僅か2時間余り上陸）ウシカ類の採集調査を行った。

夜間は60W電球及びアセチレン灯によつて採集幕（2×2m、白布）に集るものの採集、同灯によるビニール製乾式誘殺装置による捕獲を実施し、昼間は専ら捕虫網による掬取りを行った。

夜間採集結果 女島に於ける夜間採集の結果は第1表の通りである。

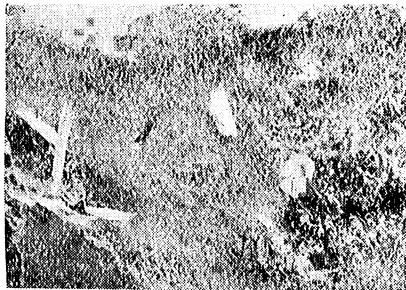
第1表 女島に於ける採集幕による稲加害ウシカ類の夜間採集結果

種 類 月 日	セジロウシカ			トビイロウシカ			ヒメトビウシカ			ツマゲロヨコバイ			其の他	摘 要
	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計		
8月1日	2	1	3	2	1	3	1		1					
2日	5	2	7											
6日	68	31	99		1	1	1		1	1	1	シマウシカ ♀ 1	晴天、むし暑し	
7日	31	12	43							1	1		曇天、むし暑し	
合計	106	46	152	2	2	4	2		2	1	1	2	晴、時々曇	
														3,4,5日暴風雨

掬取結果 女島に於いて、数地点の禾本科雑草を主とする地区を入念に掬取つたが、チガヤ、イヌビエ、オヒシバ、ススキ等でセジロウシカモドキとヒメトビウシカを採集し得たのみで、セジロ及びトビイロの両種ウシカは採集出来なかつた。

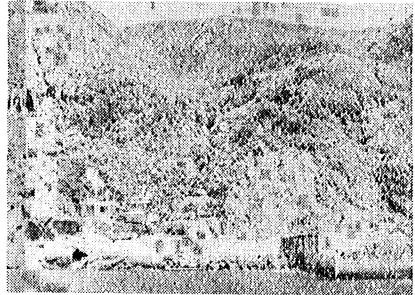
男島は8月8日五島へ引揚げの途中2時間余り上陸掬取調査を行った。即ち真浦港湾工事現場の山を切崩

(4) 男島、セジロウシカの棲息現場



した跡地に生じたメヒシバ、エノコログサ等の群落内で夥しく多数のセジロウシカモドキ成・幼虫と共にセジロウシカの成・幼虫が相当数採集された（第2図(3), (4)）。短時間の観察ではこれ等の雑草は夥しいウシカの発生にかかわらず産卵傷やウシカによる被害等

(3) 男島、セジロウシカ棲息地の遠景



は外見上認められなかつた。

要 約

1. 女島に於いて夜間に比較的多くのセジロウシカと少数のトビイロウシカが採集されたが、この島の掬取では両種とも採集出来なかつた。樹木の繁茂著しく且つ地形がけわしく多くの場所について掬取調査が出来なかつた関係で棲息現場の確認は出来なかつた。

2. 男島に在りてはセジロウシカ成・幼虫が雑草について棲息している現場を確認したが、島内の多くの地点の調査を欠ぎ、又トビイロウシカについては採集し得ないまま離島せざるを得なかつた。

3. 以上の調査によつて稲のない男女群島にも雑草についてセジロウシカが棲息している事実並びに夜間はトビイロウシカも採集され、両種ウシカ共に同群島に棲息していることが知られる。

* 竹内 亮：男女群島の植物相概報（植物及動物 Vol. 4, No. 11, pp. 1845~1856, (1936)。